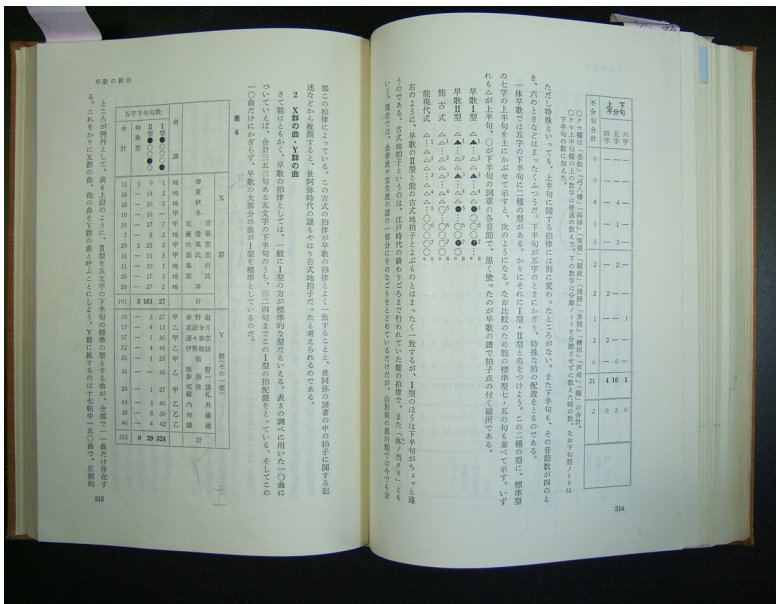
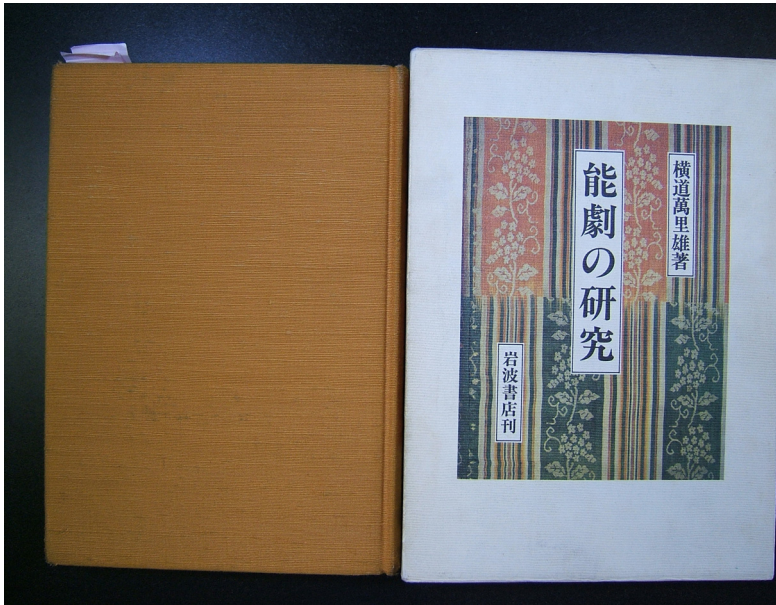


横道万里雄 『能劇の研究』

能の歌舞としての魅力を掘り下げる論文集。現代のわれわれは、近古式地拍子は世阿弥の時代にまでさかのぼるものと考えるのが常識であるが、その常識を生み出したのが本書におさめられた「早歌の新旧」という論文である（初出は一九六〇年）。「能における『越天楽今様』の撰取」（初出は一九七四年）も、分析のために謡を、近古式拍子へ還元している。その分析は、その後の謡の拍子の歴史的研究の領域における一規範を提示している。画期的論文である。



標題 内題：―

標題紙：能劇の研究

奥附：能劇の研究

その他：能劇の研究（背・函）

著者 奥附：横道万里雄

その他の場所：横道万里雄（標題紙・背・函）

（函）

出版 版次：第一版

出版地：東京

出版社：岩波書店

出版年：昭和61（1986）

その他の場所：―

形態 冊数：一冊十函 頁数：四七九頁

寸法：21×15（cm）

状態 写本版本の別：版本 現物複写の別：現物

備考